

草の根交流海外派遣団レポート

協会設立10周年を記念して、草の根交流海外派遣事業を実施しました。6月の米国グアム準州に続き、11月5日から8日まで21人の市民代表を韓国務安郡に派遣しました。メンバーの皆さんによる体験報告から、美越宣男さんのレポートを紹介します。

なお、第一陣の米国グアム派遣団との合同による市民報告会は、2月10日(土)、第6回アジア太平洋フェスティバルで実施しました。

KIJA 北名古屋市 国際交流協会会報

発行者 北名古屋市国際交流協会
Kitanagoya City International Association (KIJA)
〒481-8531 北名古屋市役所 (西庁舎4階)
TEL. 0568-22-1111(内線)2400

vol.30
2018. 4.

この度、北名古屋市の草の根交流団の一員として2017年 11月5日〜8日まで、韓国の務安郡を訪問させて頂きました。

初日に仁川空港から韓国の新幹線KTXで木浦に移動し翌朝、北名古屋市と交流が続いている務安郡庁の副郡守を交流団全員で表敬訪問しました。真心こもる歓迎式典があり、長年の草の根交流の大切さを肌で感じました。

3泊4日で盛りだくさんの行事がありました。私にとって2日目の木浦共生園への訪問が心に残りました。はじめにビデオを観賞させて頂きました。1928

には、涙がとまりませんでした。実は初日の仁川空港で、私を家族ぐるみで迎えてくれた友人のSさんは、私が2003年9月〜2004年3月迄韓国で技術指導をしていた時の友人です。Sさんは5〜6歳の頃、朝鮮戦争で両親とはぐれ米軍に保護され、その後米軍に日本の伊丹空港に空輸され、大阪十三の基督教孤児院の博愛社に入所しました。博愛社で中学校まで過ごし、卒業後クリーニング店に住み込みで勤めた頃、韓国での親探し運動で仁川に両親がいることが分かり、20歳の時に韓国に帰国しました。

木浦共生園への訪問

九之坪 美越 宣男

年、基督教の伝道師・尹致浩(ユン・チホ)氏が橋の下で寒さに震えている孤児7名を見つけて、生活を共にしたことが共生園の始まりで、子供たちの数が増え、音

楽教師の日本人・田内千鶴子さんがボランティアとして来て、尹致浩氏に合流し、その後結婚しました。日本の敗戦で、彼は親日派と攻撃されましたが、千鶴子

さんを助けたのは共生園の孤児たちでした。「日本人でも私たちのお母さんです」と身体を張って千鶴子さんの命を守ったそうです。「民族は違っても真心は通じ



木浦共生園4代目園長と記念写真

Sさんは私より3歳下で、私のことを兄貴と呼んでいました。Sさんは大阪の博愛社を訪ねることが生涯の夢だ

というので、私の帰国後の5月にご夫婦を我が家に1週間招待して、大阪の博愛社にも案内しました。博愛社の方に事情を話すと中に入れてくれて、Sさんが入所していた頃を話すと、アルバムを探して見せてくださいました。Sさんが写っている写真を見て、ご夫婦の目から涙が止めどもなく流れていました。

帰国して2年間は言葉が分からず職につけず、その後2年間は軍隊で日本語を喋ると言うだけで叩かれ、苦しさから逃げるために酒におぼれている時期がありました。従兄弟の紹介で見合いました。素敵な良くてきた奥さんと、一男三女の子宝にも恵まれ、結婚して幸せになりました。

千鶴子さんの孫にあたるチョン・エラ園長から、この博愛社は共生園の姉妹園とお聞きし、苦労が多かったSさんのこと、ご家族のことがダブって、共生園を訪問して魂が強く揺さぶられた次第です。

る。愛されれば愛する人になる。助けられたら助ける、これが人間です。これが共生園の歴史です」と、ビデオは結んでいました。

朝鮮戦争のさなか行方不明となった夫の帰りを待ちながら、苦難の運営にあたり3千人孤児を育てた彼女の崇高な献身の生涯に、韓国政府は文化勲章を贈ってその功績を讃え、日本政府もまた藍授褒章、勲五等宝冠章をもって多年の労を深くねぎらいました。木浦の母、韓国孤児の母と呼ばれながら1968年に亡くなったときには、反日感情の強かった時代において、木浦の市民葬として大勢の木浦市民が見送ったそうです。





第6回 アジア太平洋フェスティバル

近くて遠いアジア太平洋との交流の場として、相互理解を深める

国際交流イベント『第6回アジア太平洋フェスティバル』を2月10日に、文化勤労会館で開催しました。ことしは、ベトナムにスポットをあて、「アジアを観て、知り、食す」をテーマに、市民手作りのイベントいっぱいのフェスティバルになりました。

先着100名様に配布した北名古屋地域おこし産品『いちじくジャム入りいっちゃんパン』は、あっという間に整理券がなくなるほどの大人気。会場で同じいっちゃんパンの販売をしましたが、こちらも昼前には完売するほど盛況でした。

開会式の後には、メインイベントの『小栗久美子トリオ公演』がありました。ベトナムの竹琴『トルン』の演奏です。トルンは、素朴で優し

い音色。最初に小栗さんが1曲演奏した後、森川拓哉さんと佐藤直子さんが民族衣裳を着けて登場し、一層大きな拍手が沸き起こりました。『狩りに行く』などのベトナムの曲から小栗さん作曲森川さん編曲の『羽根飾りの踊り -Flap Dance-』『風』などオリジナル曲も披露しました。途中、観客によるトルンの演奏体験もありました。2人でトルンを持ち、両方からバチでたたくのに合わせて即興でトリオが音楽を作っていました。不思議なくらいぴたりと合う音色に会場の人々も驚いていました。また、用意された竹筒の楽器が会場に配られ、楽器を持った人がテンポに合わせて竹筒をならし小栗さんたちはそれと一緒に『剣の舞』を演奏しました。奏者と会場が一体となって演奏する、素晴らしい演奏会となりました。



その後、草の根交流海外派遣団市民報告会や、ベトナムの人たちの集いがありました。ベトナムの人たちは、民族衣裳に身を包み、自己紹介からベトナムのようす、日本での暮らしぶりなどをし

かりとした日本語で発表しました。国際交流協会の子ども日本語教室や社会人日本語教室で日本語を学んでいる人たちも来場してくれ、懐かしいベトナム音楽や料理を楽しんでいるようすでした。

小ホール前では、アジア民族衣裳の試着と写真撮影があり、撮った写真は缶バッジにしました。この他にも、国旗ビーズづくりや牛乳パックホイッスルづくりなどもあり、子どもたちも楽しく参加していました。



販売コーナーでは、地域おこし産品の飲む酢が販売されたり、フェアトレードの特別販売もありました。

2階はアジアンカフェとアジアンフードコーナーです。名古屋のベトナム料理店トゥアンにお願いし、2種類のお弁当を用意しました。麺友会による手作りうどんもあり、皆さんアジアンフードに舌鼓を打ちました。

一日しっかりベトナムとアジアを楽しむ、盛りだくさんのイベントとなりました。

通常総会を開催します

- 日時** 平成30年4月7日(土) 午前10時から
- 場所** 北名古屋市コミュニティセンター 3階ホール **対象** 協会会員
- 議題**
 - 平成29年度事業報告・決算報告
 - 平成29年度草の根交流海外派遣事業報告・決算報告
 - 平成30年度事業計画・収支予算 ●役員改選など

※協会の総会は協会会員の方しか参加できません。 ※なお会員の皆様には、事前に開催通知をご送付させていただきます。

Aa 外国語講座を開講します

平成30年5月から平成31年2月まで、全20回です。気軽にはじめ、国際理解を深めましょう。

- 時間** 午後7時～8時45分 **場所** 健康ドーム1階研修室または会議室
- 対象** 市内在住・在勤の方 **受講料** 一般/年14,000円 会員/年11,000円
- 定員** 各講座とも30名(先着順)
- 申込み** 受講料を添えて協会事務局へ申し込みください。なお開講日等詳細は、ホームページ、事務局でご確認ください。また、お申し込みが15名以下は開講を見合わせる場合もありますので、あらかじめご了承ください。

講座	開講日
韓国語基礎	毎月第2・4月曜日
韓国語応用	毎月第1・3月曜日
中国語	毎月第2・4月曜日
英会話基礎	毎月第2・4水曜日
英会話応用	毎月第2・4金曜日

各種 **申し込み** **お問い合わせ** 等は下記までお願いします。

〒481-8531 北名古屋市西之保清水田15番地 北名古屋市役所西庁舎4階

北名古屋市国際交流協会
TEL 0568(22)1111 内線2400 FAX 0568(25)1800

Eメール info@kitanagoya-kiia.jp ホームページ <http://www.kitanagoya-kiia.jp>
フェイスブック <https://www.facebook.com/kitanagoyakiia>

私たちの国際交流

“気づき”

九之坪 鈴野 範子

日本語で何かを手渡す時の“どうぞ”は、英語で“Here you are.”と表現できる他に“Here you go.”という表現の仕方もあります。最近気づいたことなのですが、日本語を英語にするには一つの表現だけでなく、さまざまな言い方あることを知りました。そうです、正解は一つだけではないのです。

今から5年前、家族で海外旅行に行った際の数々の苦い経験から、もう一度英語を学びなおしたいと国際交流協会の英語講座を受講し始めました。2時間もの間、英語

のシャワーを浴びることは私にとって頭痛がするほどのことで、また英会話となれば日本語しか出てこないといった具合でのスタートでした。しかし、継続は力なりとはよく言ったもので、地道ではありますがいつしか頭痛がすることも無くなり、ネイティブスピーカーの流暢な英語も何となくわかるようになってきたのです。もちろん全てが解るまでには至っていませんが、解らない時は愛想笑い。また、毎講座の冒頭にはWhat's new?とお題が出ます。些細なことでも英語でoutputすることにより、当初いてきたように思えます。

そんな地道な英語づけ学習の最中、縁あって北名古屋市の土曜英語教室のお手伝いをさせていただくことになりました。対象は小学2、3年生です。第一印象は、英語って楽しい!初めて聞く英

語表現もジェスチャーを交えることで、楽しく伝えることができ、また、ひたすら読み書きして覚える英語とは違う楽しさがここにはありました。子どもたちは単語や文法がわからなくても大体の意味がジェスチャーや絵カード等を通して理解でき、英語も話せるようになるのです。

グローバル社会、多文化共生と言われる昨今。他人の意見に耳を傾け、自分の考えを堂々と言える子、また、日本人として大切にしなければならない礎を築けるよう、子どもたちの英語教育を通して、目指すグローバル社会の一助になればと思います。

こうして大人になってからの学習には“気づき”が多いように思われます。あらゆる角度から物事を見ることにより、新しい発見に驚き、その“気づき”が私をより一層スキルアップさせるものであると思いたいのです。